

平成28年	健康寿命(歳)		平均寿命(歳)	
	男性	女性	男性	女性
全国	72.14	74.79	80.98	87.14
神奈川県	72.30	74.63	81.61	87.55
二宮町	65.90	67.10	80.60	86.30

※地区計画とは、地区の課題や特徴を踏まえ、住民と町とが連携し、目指すべき将来像を設定し、実現に向けて都市計画に位置づけて「まちづくり」を進めていく手法。地区計画の目標・方針を定め、地区整備計画で道路・公園などの位置や建築物などのルールを制定。

場所	用途地域	地区指定	建蔽率	容積率	高さ限度
現庁舎 町民センター 武道館	第1種 中高層 住居専用 地域	二宮駅前地区 地区整備計画区 域C地区	60%	200%	13m
		第4種風致地区	40%		15m
駅前町民会 館跡地、 二宮小学校	近隣商業 地域	B地区 二宮小学校は 第4種風致地区	80% 二宮小は 40%	200%	20m 二宮小は 15m

※2 都市計画二宮駅前地区地区計画(平成21年9月決定)の目標

公共施設の再整備を図るとともに、公共施設・商業地の機能をあわせもつ複合的市街地の形成及び周辺環境との調和、住環境の向上を図る。

土地利用の方針

(B地区)隣接する二宮駅周辺の土地利用との連担性を配慮し商業・業務施設としての土地利用を図る地区とする。

(C地区)町民及び周辺住民の利便性向上のため、公共・公益的施設の再整備、保全を図る地区とする。

※3 二宮駅前地区地区整備計画区域C地区(現庁舎、町民センター、武道館)に建築できる建築物

- (1)地方公共団体の支庁又は支所の用に供する建築物
- (2)学校、図書館その他これらに類するもの
- (3)老人ホーム、保育所、身体障がい者福祉ホームその他これらに類するもの
- (4)診療所
- (5)近隣に居住する者の利用に供する公園に設けられる公衆便所又は休憩所
- (6)路線バスの停留所の上家
- (7)大学、高等専門学校その他これらに類するもの
- (8)病院
- (9)老人福祉センター、児童厚生施設その他これらに類するもの
- (10)単独車庫
- (11)建築物に付属するもの



提言

未来に防災・コミュニティづくりとなる 庁舎整備代替案。

基本設計委託が止まっている 新庁舎建設の現状。

新庁舎建設は、3月議会で基本設計委託料を除く修正当初予算案が可決。その3か月後町は新庁舎建設概算経費を約26億4千万円から20億円に減少させた再案の基本設計委託料を含んだ補正予算が6月議会で否決。(反対)羽根、松崎、坂本、露木、大沼、前田、二石 議席番号順 敬称省略。

しかし、補正予算が否決されたも町の新庁舎建設案が修正されたわけではありません。地区住民説明会での資料は再案のまま変更はしていません。広報や議会だよりでも検討状況は不明のままです。

小中一貫校による学校施設の再配置も町の案への懸念が多く、再検討中です。また、防災本部機能や各地区の防災拠点となる地域集会所の整備も具体的検討が始まりました。

将来を見据えた多角的な検討機運を作っています。さらに踏み込んで、町の未来像、庁舎の在り方、財政計画などの議論を深め、住民が主役の共育のまちづくりを具現化したいと考えます。

「しお風」は前号で「吾妻山をシンボルとした町の顔と防災・コミュニティづくりとなる庁舎整備」を代替案例として提案。この代替案例が様々な視点からの議論を深め、町が持続可能な実効性を高めるため、精査してみました。

前提条件

- 1 住民福祉の増進を図る。
- 2 まちづくりを総合的に実施する。
- 3 住民等が利用しやすい。
- 4 極力町の財政に負担をかけない。
- 5 防災・まちづくり拠点として機能させる。
- 6 未来型オフィスを視野に入れる。

前提条件を考慮し、核庁舎と分庁舎を整備します。集約させた方が良い機能(町民サービス・税等徴収機能・企画政策機能・防災本部機能・議会機能等)を核庁舎建設で新設。

分散させた方が相乗波及効果、効率的、経費削減などにつながれる部署を既存施設の活用で未来への柔軟な整備。

実際に執務に必要な想定面積を割り出し、都市計画の用途地域や地区計画等の指定(※1参照)による建築面積の制限を考慮し、庁舎整備の配置イメージを作成し、検証しました。市町村役場機能保全事業を活用し、国の交付金も得られます。

二宮駅前地区地区計画平成21年9月決定の目標とは整合性がありますが、地区整備計画の変更が必要になります。(※2、※3参照)

町の計画案ではこの地区計画の目標に反する懸念。町の現庁舎の跡地計画は未定で、しかも現庁舎の建物活用は不可能です。

このままでは公共施設、福祉施設、学校、病院などしか建築できず、(※3参照)民間活用は難しく二宮町の顔とも言える二宮駅前の高台に廃墟が出現することになりかねません。



やはり、町全体の持続可能な未来像が必要です。吾妻山は町のシンボルの存在で町民の心のよりどころ。そして二宮町は昔からアカデミックな風土があります。

吾妻山、小学校、駅前整備、核庁舎の新設を一体的に整備することで、二宮町が教育、愛を重視する町であることをアピール、中高層住居施設等の誘致をしやすくします。さらに吾妻山のふもと、核庁舎等に隣接を活かしたコミュニティ教育を行う学校があることで、子育て世代の定住促進につなげられるのではないかと考え、代替案例を提案しました。

二宮町役場新庁舎の整備について、代替案を「しお風」なりに、一生懸命調べて考えてみました。



庁舎整備の配置イメージ



3階建て新庁舎の建設→駅前町民会館跡地

[1階]町民サービス機能(福祉保健課・高齢介護課・地域包括センター・生活環境課・相談室・エントランスホール・情報コーナー・総合窓口・町(観光含む)案内・キッズコーナー・授乳室・税等徴収・証明発行機能(戸籍税務課・出納課)・金庫室・守衛室等

[2階]企画政策機能(町長・副町長室・企画政策課・地域政策課・総務課・財務課・防災安全課)、大会議室(防災本部兼)、給湯室等

[3階]議会機能(事務局・委員会室(大会議室)・小会議室・議員控室・ロビー、電気・機械室、休憩室、更衣室、シャワー室等

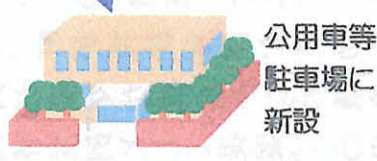
分化庁舎
既存公共施設を活用し、迅速で未来への柔軟性も考慮した整備



保健センター
子育て健康課
東大二宮果樹園跡地などと提携した駐車場対策



ラディアン
今まで通り
生涯学習課



公用車等
駐車場に
新設

[1階]教育長室・教育総務課・教育支援室、監査・選挙管理委員会、中会議室、電算室、文書書庫、防災備蓄庫等
[2階]都市整備課、下水道課、産業振興課、農業委員会等

情報やデータがあまりなくて、わからないことが多いけれど図や表を作成してみました。



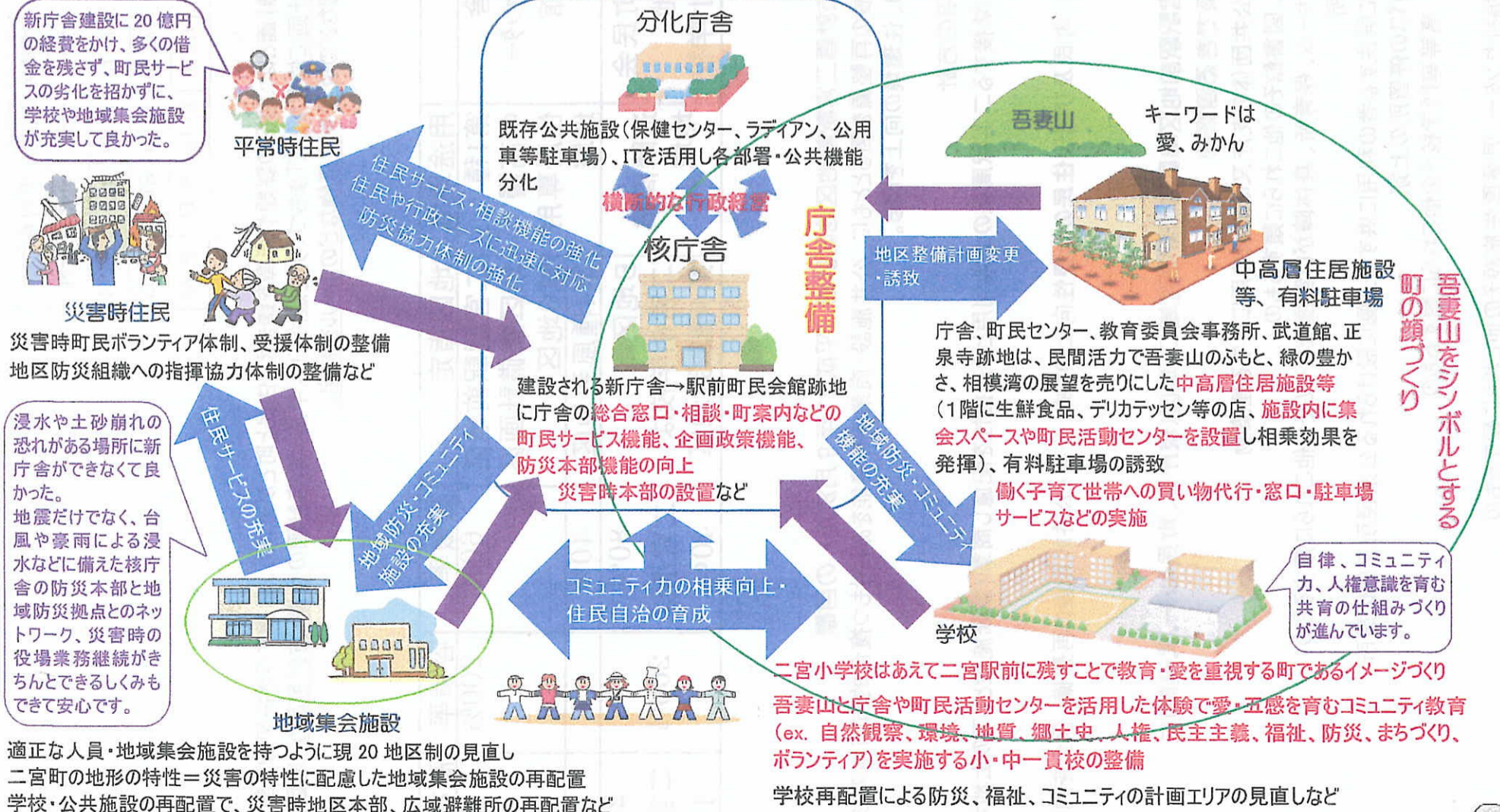
財政推移 (平成24年度～平成30年度)

「決算の概要」、二宮町統計書、決算カードの数値を使って作成

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
町長	坂本	坂本	坂本・村田	村田	村田	村田	村田
備考	東大跡地				国保借入	臨時収入	
人口(人)	29,305	29,036	28,767	28,378	29,087	28,244	28,010
経常収支比率(%)	99.0	100.5	104.0	103.4	99.7	95.3	
歳入(千円)	7,971,792	8,230,886	7,886,471	8,141,034	7,882,643	8,373,356	8,086,052
歳出(千円)	7,698,887	7,950,945	7,617,046	7,873,071	7,636,403	8,097,235	7,724,106
町税	3,655,559	3,658,487	3,638,599	3,547,020	3,579,980	4,305,276	3,480,587
割合	45.9	44.5	46.1	43.6	45.4	51.4	43.0
前年増減	-24,983	2,928	-19,888	-91,579	32,960	725,296	-824,689
町債	552,700	682,700	518,100	444,700	401,000	379,300	612,700
割合	6.9	8.3	6.5	5.5	5.1	6.8	7.6
前年増減	204,000	130,000	-106,600	-71,400	-43,700	-169,300	-42,400
町債残高(千円)	7,313,816	7,428,683	7,399,738	7,303,865	7,130,632	7,089,498	9,364,498
前年増減	85,228	114,867	-28,945	-95,873	-173,233	-41,134	2,275,000
町民一人当たり町債(円)	250,886	257,315	258,786	257,641	253,849	253,677	255,522
基金残高(千円)	813,756	770,833	719,543	891,071	1,062,675	1,256,209	1,499,402
町民一人当たり基金(円)	27,914	26,700	25,164	31,432	37,831	44,950	51,923
公債費(千円)	573,912	667,138	635,954	622,661	645,853	674,161	652,054
割合	7.4	8.4	8.3	7.9	8.5	8.3	8.4
前年増減	-29,896	93,226	-31,184	-13,293	23,192	28,308	-22,107
公債費-町債	21,212	-15,562	119,854	177,961	244,853	103,861	39,354

将来を見通した町の持続可能な未来像(「しお風」が考える代替案例)

吾妻山をシンボルとする町の顔と防災・コミュニティづくりとなる庁舎整備の概念図



財政負担にならない(建設費、将来過大建築面積になった時の維持管理費等負担)迅速な庁舎整備

劇的な人口減で町税も激減しても住民に財政負担や住民サービスの劣化を招かず、迅速に進められる庁舎整備

既存公共施設(保健センター、ラディアン、公用車等駐車場)を活用、特に公用車等駐車場に現場に出る、町民があまり訪れない部署を置き(相談がある時は核庁舎の相談室等に出向き対応)、将来の学校再配置実施後にも柔軟に対応

詳しい情報は、「しお風」ホームページをご覧ください。

